

所、市、土地改良などの関係機関の協力関係を、より密接化するものであります。

以上、五つの成立要件を柱と

地域農業の振興にきめ細かな配慮

では、当面の五十六年度一級農政について申し上げます。農業費の予算総額は、二億九千二百八十三万円を措置しました。

まず施策の第一点は、地域農政の推進と農業振興計画の進行管理であります。

過去三か月間、県の指定を受け、四十の重点集落の推進活動に基づき、地域農政整備事業が九集落十集落において実を結び生産に要する機械施設、集会場などを、約四千万円の補助で、新年度整備される予定です。

また、第三次農業振興計画に基づく計画の実践、および農家との検討、複合経営実践集団など、市独自の施策を、国県の補助事業などもあわせ、推進する所存であります。

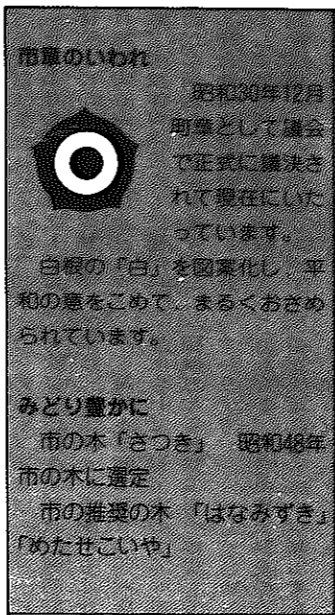
して進めていく方針を申し上げましたが、これらについては追って詳細計画ができましたら、ご指導を願うこととしております。

さらに、来たるべき高速時代に対応して、首都圏農業を想定した生産から消費を結び、かつ市民の憩いの場としての機能、および本市農業振興の拠点としての施設を構想することとしております。

ここには、各種研修、加工実験、花木の展示即売、農業関係指導機関の一元化、事業展開の各種機会など、文字通り地域農業振興の殿堂とするものです。

農業者教育は、主體的なたくましい担い手養成のため、後継者対策、婦人教育、自立経営育成事業など、前年度にまじりてきめ細かく対処していく所存であります。特に青年の海外派遣は、より若い有能な青年に、その道を広げていくつもりであります。

高度成長時代に進められた、



次に、農業生産対策についてふれたいと思います。

基本的には、農政審議会の答申で明らかにされた「農産物の需要と生産の長期見直し」が示すように、今後は、麦、大豆、飼料作物の生産拡大がうたわれ米を中心に過剰基調を指摘しているのではありません。

しかし、白根市が総合的な食糧供給基地として、拡充発展するために、あらゆる産地間競争に勝ち抜き、安全で良質、かつ低コストをもつて、優秀な農産物供給源として、その価値を高めなければなりません。

そのためには、従来の感覚から脱皮し、生産、流通、消費面に

に厳しく反応し、高度の生産技術を体得する努力が、要請されるものと思われまます。

まず、稲作については、うまい米産産運動をさらに強化し、一等米九〇%を目標に、反収六千六百キログラムを志向するものであります。

そして果樹、野菜などを含め

地力増進に努め、自然循環系を尊重した農業の基本にもう一度目を向け、共同の力で、製品の統一化をはかるための、栽培技術協定を徹底していく方針です。

次に、水田利用再編第二期対策について申し上げます。

昨年の経験を生かし、同じ轍を二度とふまないという心構え

で、昨年八月以降、二期対策に取り組んでまいりました。

五十六年度目標面積は、七百二十六・八割、前年比一四八%となりました。

数回の農家組合長会議、前後二回にわたる全集落の座談会、関係団体、機関の会合、転作物の研究、現地指導会などを通じて、幾多の困難はありますが、転作物目標面積は達成しなければならぬという合意が得られたと確信し、ようやく第一次の集約が可能な段階にあることを、ご報告しておきます。

目標面積一〇〇%達成に向けて、一層の努力を続けていく所存ですので、各位からも格段の

商工環境整備と近代化を推進

第二次石油危機の、さ中に明けた一九八〇年は、「不透明な時代」の幕明けを象徴するかのごとく、波乱の明け暮れに終始し、中小企業にはいわずに「かかり現象」が、刻々と広がりつつあるようです。

一九八一年の本年も、原油事情をはじめ、米国やE.C諸国との貿易摩擦、南北問題など、国際環境は常にその火種を内蔵し、引き続き不安定要素をかかえ、国内面でも民間需要の急速な回

復は、期待しにくい情勢から、中小企業にとつての試練は、引き続き長期化の兆しがあるが、引き続きなが、中小企業は、これまでも多様な環境変化に、持ち前の機動性、小回りを生かして活力ある今日を、築いた思いを経歴の持ち主であります。自主努力を積極的に進め、新たな環境にすばやく、的確に対応し、これまで以上に創造性を発揮し、真摯な努力を続けければ、

必ずや道は開けるものと確信するものであります。

このため、市ではやまもすれば防衛意識の業界氣質を、進んで近代化意識に転向せしめるため、これら資金を一億三千五百万円増額し、総額五億七千六百万円とした。近代化および商工資金の円滑化をはかりながら商工会そのほか関係機関と密接に連携し、経営の近代化、商工環境整備の整備に努めたいと存じます。

商業地域における駐車難は、交通の安全、交通の渋滞をきたすのみならず、商店街の死活動問題として、早くから要請されているところですが、

商工会を通し、検討させておりますが、何分にも商店街の立地形態、地価の高騰、地域理解などに阻まれ、具体的進展がみられないまま、今日に至っております。今般、諏訪木保育園の移築により、八百七十二平方メートルの跡地が生じたので、この際これを貸与して駐車場とし、その管理を地域商店会に委任することとし、具体的な事項を検討させていただきます。

街区の駐車場用地取得は、極めて困難です。今後、公共用地またはこれの代替地利用などに配慮するほか、地域の団体、機関等の共同設置事業にはこれを積極的に支援し、市街地駐車場建設の促進をはかり、商業環境の改善に努めたいと存じます。

本市唯一の地場産業として誇る仏壇は、新潟・豊栄を合わせ

た業界の連合体で、伝統工芸品指定の取り組みを続けてきたところ、昨年十月、通商産業大臣から伝統工芸品の指定を受けました。目下、その振興計画の作成にとりかかっております。

今般、国および県のテコ入れをもとに、伝統的地場産業の振興発展のため、市として応分の措置をとることいたしました。

和泉農工団地企業は、経済不振の中で、着実に業績を挙げ、雇用者数九百五十人、百四十三億円の製造出荷額となつております。なお、数社の立地をみないので、これら企業の立地促進をはかるため、同計画期限をむこう五年延長する手続きを進めております。

なお、本市に工場進出の希望は、続いている現状から、土地利用計画の見直し作業の必要がでてきました。これを機会に、農工団地の拡大をはかつていくつもりであります。

従来、商工会に委託実施していましたが、貸金および労務の実態調査は、新年度から直接市が実施し、広く求人、求職および条件改善の資料に資するとともに、良質な若年労働者の定住と、その地位の向上に役立たせることにいたしました。

また、労働金庫預託金は、前年実績に二百万円増額し、二千五百円となりました。このように組織労働者の福祉資金の円滑化を図ることあわせ、未組織労働者のため、同様資金の拡大利用



商業地域の駐車難対策と、農工団地の拡大を検討していきます

また、労働金庫預託金は、前年実績に二百万円増額し、二千五百円となりました。このように組織労働者の福祉資金の円滑化を図ることあわせ、未組織労働者のため、同様資金の拡大利用

米の過剰は現実の問題。減反問題は真正面から受け止め、集団転作や重点作物の定着をめざします

